

JOSHIBI UNIVERSITY OF ART AND DESIGN

女子美術大学
2018年度
外国人留学生特別選抜
入学試験要項
(A日程)

<http://www.joshibi.ac.jp>



目 次

- 2 **アドミッションポリシー**
 入学定員
- 3 **出願・受験・合格発表**
- 10 **日本国外から出願する場合の注意事項**
- 11 **「合否案内」について**
- 13 **入学手続**
- 14 **その他**

アドミッションポリシー（求める学生像）

美術・デザインに深い興味を持ち、専門家としてそれぞれの分野で活躍することを目指す人、芸術によって社会に貢献し自立したいという意欲のある人材を求めます。

求める資質・能力としては、芸術に対し自由で柔軟な考えを持っていること、対象をよく観察し理解する眼を持っていること、問題意識を持ち自ら考える姿勢を持っていること、個性を素直にのびのびと表現できることが挙げられます。

入学定員

大学 芸術学部

学科	定員	専攻・領域	入学後のキャンパス
美術学科	190名	洋画専攻	相模原（神奈川）
		日本画専攻	
		立体アート専攻	
		美術教育専攻	
		芸術文化専攻	
デザイン・工芸学科	220名	ヴィジュアルデザイン専攻	相模原（神奈川）
		プロダクトデザイン専攻	
		環境デザイン専攻	
		工芸専攻	
アート・デザイン表現学科	160名	メディア表現領域	杉並（東京）
		ヒーリング表現領域	
		ファッションテキスタイル表現領域	
		アートプロデュース表現領域	

大学 芸術学部 外国人留学生特別選抜入学試験（A 日程）

■ 入学者選抜方針

留学生を積極的に受入れることにより、異文化や多様な価値観に触れ、学生相互が広い視野と柔軟な思考を獲得するとともに、活気ある教育環境を創り出すことを目的に実施します。「学科・専攻・領域の求める専門的基礎技能」と「意欲・目的意識」をみるため、専門試験と面接を行います。面接では併せて日本語でのコミュニケーション能力もみます。

■ 募集人員

学科	専攻・領域	
美術学科	洋画専攻	
	日本画専攻	
	立体アート専攻	
	美術教育専攻	
	芸術文化専攻	
デザイン・工芸学科	ヴィジュアルデザイン専攻	
	プロダクトデザイン専攻	若干名
	環境デザイン専攻	
	工芸専攻	
アート・デザイン表現学科	メディア表現領域	
	ヒーリング表現領域	
	ファッションテキスタイル表現領域	
	アートプロデュース表現領域	

■ 選考方法

専門試験、面接および提出書類により総合的に判定します。

出願

出願方法 インターネットによる出願
※「[ネット出願手順](#)」をご参照ください。

出願期間 **2017年11月1日（水）～11月13日（月）締切日必着**
※日本国外から出願書類を郵送する場合は「日本国外から出願する場合の注意事項」を参照してください。

出願先 〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美入試センター

検定料 30,000 円
※「[検定料の減額制度について](#)」をご参照ください。

出願資格

日本国籍を有しない（日本国の永住許可を得ていない）方で、次の①または②の資格を有し、入学後、授業を受けるのに支障のない日本語能力を有する2018年4月1日に満18歳に達している女子に限ります。

①外国において通常の学校教育（12年）もしくはそれに準ずる課程を修了した方、または2018年3月31日までに修了見込みの方で自国において大学入学資格を取得または取得見込みの方

②外国の大学入学資格である国際バカロレア資格・アビトゥア資格・バカロレア資格・GCE-Aレベルのいずれかを保有する方

※出願資格に不明な点があるときは、事前に女子美入試センターに確認してください。

出願書類

①Web志願票（本学所定）

※「ネット出願手順」に従い、必要事項を入力し、検定料を支払い、Web志願票を印刷してください。

②志願者の履歴（本学所定）

③出身高等学校の成績証明書および卒業（見込）証明書（日本語または英語）

出願資格②に該当する方はそれぞれの資格のディプロマと成績証明書

中国国内で発行された卒業証明書および成績証明書の日本国内における公証・認証手続は、「中国学歴・学籍認証センター日本代理機構」（03-6909-2235）で行われています。

以下のWebページ等も参考にして、早目に準備するようにしてください。

CHSI中国高等教育学生信息网 <http://www.chsi.com.cn/>

④志願者に関する調査書（本学所定）

⑤志願調書（本学所定）

⑥住民票またはパスポート・入国査証（写）

パスポート・入国査証（写）を提出する場合は、本人確認ができる写真付のページと、在留資格・期間が確認できるページの両方を提出してください。出願時に日本に入国していないなど、在留資格・期間のページが提出できない場合は、理由を記入したメモを同封し、試験当日に、在留資格・期間のページのコピーを仮受験票発行窓口まで持参してください。

⑦特別な配慮を希望される方のみ配慮希望申請書(本学所定)および診断書

受験時や入学後の修学における特別な配慮を希望する方のみご提出ください。

「配慮希望申請書(本学所定)」はあらかじめオープンキャンパスや進学説明会等を利用して、本学の授業形態やキャンパスの施設・設備等をご確認いただき、具体的な内容について事前相談の上記入してください。所定用紙は事前相談の際にお渡しいたします。

また、事前相談の内容により配慮の上で参考となる資料を別途添えていただく場合があります。

事前相談による申請が無かった場合、受験および入学後の修学において対応が出来ないことがありますので、あらかじめご了承ください。

*事前相談については本学入試センターまでお問い合わせください。

☎042-778-6123

なお、この事前相談は、障がい等のある入学志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験および修学にあたってより良い方法を相談するものであって、合否判定とは一切関係ありません。

注) 証明書類が日本語または英語以外の言語の場合は、公的な機関で証明された日本語の訳文を添付してください。

出願上の注意

●出願書類は登録時に出力した「封筒貼付用宛名シート」を貼付した任意の封筒（角形2号）に入れて、必ず郵便局窓口から簡易書留（速達）で郵送してください。

●出願書類を日本国外から郵送する方は「日本国外から出願する場合の注意事項」を参照してください。受験票返送先は日本国内に限ります。

●やむを得ず出願書類を直接本学に持参される場合は、事前に女子美入試センターまでご相談ください。

☎042-778-6123

●同一学科内であれば、第2志望専攻・領域を申請することができます。

●第2志望の合否は、第1志望先の試験結果により判定します。

●第2志望を申請した方は第1志望が不合格でも、第2志望で合格する場合があります。

●第2志望を申請する方は出願登録時に申請してください。

●出願後の変更は認められませんので注意してください。

●出願書類に虚偽の記載のあることが判明した時は、入学許可を取り消すことがあります。

●一度納めた検定料および出願書類は返還いたしません。

●受験票は出願締切日以降に発送します。

●「一般社団法人 日中亜細亜教育医療文化交流機構」が主催するJPUE（日本大学連合学力試験）一次通過者については、指定の留学前準備講座を受講し事前課題を達成することで、事前に申請した専攻・領域の試験を免除しますが、第2志望を申請することは出来ません。

●目標とする日本語レベル

日本語能力は面接時に審査しますが、試験までに日本語能力試験（JLPT）N2以上のレベルの体得を目標としてください。



受験

試験日 2017年11月26日 (日)

試験場 学科により異なります

- 美術学科、デザイン・工芸学科
相模原キャンパス (神奈川)
- アート・デザイン表現学科
杉並キャンパス (東京)

配点 ●全学科共通【専門試験】100点【面接】100点

試験科目等 ■美術学科

●洋画専攻		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30~12:30 (3時間) 与えられた静物を自由に配置し鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具を持参 ★B3ボード(画用紙)は大学で準備します。
	評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・観察に基づく描写ができているか ・画面内での配置、構図がバランスよく表現できているか ・全体と細部の関係、諧調表現等の描写力に基づく表現ができているか
面接	実施方法	個人面接(作品持参) 13:30~ 1人10分程度
	持参作品	大きさ10~30号程度の作品2点と自己PR用資料 (スケッチ、クロッキー、作品のファイルなど)
	評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・持参作品と資料を基に、これまでに修学したこと、発想の起点、これからの目的を明確に説明できるか ・学習意欲・創作意欲はあるか ・自分の意思を自分自身の言葉で表現できるか
●日本画専攻		
専門試験	科目・時間	水彩画 9:30~12:30 (3時間) 個別に与えられたモチーフを自由に構成し水彩画を描く
	持参用具	水彩用具一式、鉛筆、消具(水彩絵の具の透明・不透明は自由 アクリル絵の具も可) ★F10号水彩用紙、画板は大学で準備します。
	評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・水彩画による表現力 ・モチーフの観察、構成力、質感の相違、色彩の表現力
面接	実施方法	個人面接(作品持参) 13:30~ 1人10分程度
	持参作品	大きさ10~20号程度の作品2~3点、作品資料ファイル1冊
	評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・志望理由は明確か ・目的意識や創作意欲はあるか

●立体アート専攻		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30~12:30 (3時間) 与えられたモチーフを自由に配置し鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具を持参 ★B3ボード(画用紙)、下描用白色紙、カルトン、イーゼルは大学で準備します。
	評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 問題の内容を正しく理解しているか ものをよく観察し素直に表現できているか 形のバランス、構図、質感、量感をとらえて表現できているか
面接	実施方法	個人面接 13:30~ 1人15分程度
	持参作品	基本的に持参作品は必要としないが、希望者は作品を持参してもよい
	評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 志望理由は明確か 目的意識や創作意欲はあるか 質問を素直に受け止め、自分の意思を自身の言葉で表現できているか

●美術教育専攻		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30~12:30 (3時間) 与えられた静物を自由に配置し、鉛筆でデッサンをする
	持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具(定期的使用は許可しない) ★B3ボード(シリウス紙)は大学で準備します。
	評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 問題の内容を正しく理解しているか よく観察し、素直に表現できているか 形のバランス、構図、質感、量感を捕らえて表現できているか
面接	実施方法	個人面接 13:30~ 1人15分程度
	持参作品	基本的に持参作品は必要としないが、希望者は作品を持参してもよい
	評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 志望理由は明確か 創作意欲や学業に対する意欲はあるか 質問を的確に受け止め、自分の言葉で明確に表現できているか

●芸術文化専攻		
専門試験	科目・時間	小論文 9:30~11:30 (2時間) 与えられた課題に関して文章で表現する *辞書は使用不可
	持参用具	筆記具 ★原稿用紙、下書き用紙は大学で準備します。
	評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 問題の内容を正しく理解しているか 基礎的な表現技術を持っているか 論理性を有しているか
面接	実施方法	個人面接 13:30~ 1人20分程度
	持参作品	基本的に持参作品は必要としないが、希望者は作品を持参してもよい
	評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 志望理由が明確であるか 目的意識、学習意欲があるか 自分の意志を自分自身の言葉で表現できるか

■デザイン・工芸学科

<ul style="list-style-type: none"> ●ヴィジュアルデザイン専攻 ●プロダクトデザイン専攻 ●環境デザイン専攻 ●工芸専攻 		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン 9:30~12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆デッサン用具一式(パネル、カルトン、フィキサチーフ、クロッキー帳は使用不可) ★B3ボード(画用紙)、下描用白色紙1枚は大学で準備します。
	評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・問題の内容を正しく理解しているか ・ものをよく観察して理解し、表現できているか ・構図等、バランス良く表現できているか
面接	実施方法	面接(作品持参) 13:00~ 受験生1~3人程度 1組15~20分程度 (ヴィジュアルデザイン専攻のみ受験生2~3人程度)
	持参作品	<ul style="list-style-type: none"> ●ヴィジュアルデザイン専攻 ●プロダクトデザイン専攻 ●環境デザイン専攻 数点とし、平面・立体など自由とします。 <ul style="list-style-type: none"> ・必ず本人が制作した作品であること ・入試に準じた作品でなくても良い ・見やすい形式(現物・写真)で持参すること <ul style="list-style-type: none"> ●工芸専攻 <ul style="list-style-type: none"> ・色彩構成(B3サイズ)1点 ・デッサン(B3サイズ)2点
	評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ●ヴィジュアルデザイン専攻 ●プロダクトデザイン専攻 ●環境デザイン専攻 <ul style="list-style-type: none"> ・志望理由が明確であるか ・目的意識や学習・創作意欲があるか ・質問を素直に受け止め、自分の意志を自分自身の言葉で表現できているか <ul style="list-style-type: none"> ●工芸専攻 <ul style="list-style-type: none"> ・志望理由が明確であるか ・目的意識や学習・創作意欲があるか ・質問を正確に理解し、自分の意志を自分自身の言葉で表現できているか

■アート・デザイン表現学科

●メディア表現領域		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン(イメージ表現)または鉛筆デッサン 9:30~12:00 (2時間30分) [鉛筆デッサン(イメージ表現)] 個別に与えられたモチーフとイメージを合わせ、鉛筆デッサンする [鉛筆デッサン] 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、構成し、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具(パネル・カルトン・フィキサチーフは使用不可) ★B3ボード(シリウス紙)、下描用白色紙1枚は大学で準備します。
	評価基準	[鉛筆デッサン(イメージ表現)] <ul style="list-style-type: none"> ・モチーフをよく観察し理解した上で描画できているか ・イメージが感じられる表現ができているか ・テーマに沿ったイメージ表現ができているか [鉛筆デッサン] <ul style="list-style-type: none"> ・モチーフを良く観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランスよく表現できているか
面接	実施方法	個人面接(作品持参) 13:00~ 1人10分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体・ポートフォリオなど自由とします。
	評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識、意欲があるか ・質問に対して、素直に自分自身の言葉で意思を表現できているか

●ヒーリング表現領域		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン(イメージ表現)または鉛筆デッサン 9:30~12:00 (2時間30分) [鉛筆デッサン(イメージ表現)] 個別に与えられたモチーフとイメージを合わせ、鉛筆デッサンする [鉛筆デッサン] 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、構成し、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具(パネル・カルトン・フィキサチーフは使用不可) ★B3ボード(シリウス紙)、下描用白色紙1枚は大学で準備します。
	評価基準	[鉛筆デッサン(イメージ表現)] ・モチーフをしっかりと観察しているか ・描写力はあるか ・テーマに沿ったイメージ表現ができているか [鉛筆デッサン] ・モチーフを良く観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランスよく表現できているか
面接	実施方法	個人面接(作品持参) 13:00~ 1人10分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体・ポートフォリオなど自由とします。
	評価基準	・目的意識、意欲があるか ・質問に対して、素直に自分自身の言葉で意思を表現できているか

●ファッションテキスタイル表現領域		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン(イメージ表現)または鉛筆デッサン 9:30~12:00 (2時間30分) [鉛筆デッサン(イメージ表現)] 個別に与えられたモチーフとイメージを合わせ、鉛筆デッサンする [鉛筆デッサン] 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、構成し、鉛筆デッサンする
	持参用具	鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具(パネル・カルトン・フィキサチーフは使用不可) ★B3ボード(シリウス紙)、下描用白色紙1枚は大学で準備します。
	評価基準	[鉛筆デッサン(イメージ表現)] ・与えられたモチーフをよく観察し、理解した上で的確に表現できているか ・画面の構成力、構図のバランス感覚が表現できているか ・テーマに沿ったイメージ表現ができているか [鉛筆デッサン] ・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成、配置等が、バランス良く表現できているか ・モチーフの置かれた空間(奥行き、高さ、広がり)が感じられる表現となっているか
面接	実施方法	個人面接(作品持参) 13:00~ 1人10分程度
	持参作品	持参作品は数点とし、平面・立体・ポートフォリオなど自由とします。
	評価基準	・志望理由、将来の目標が明確か ・目的意識、創作意欲を持っているか ・帰国子女・外国人留学生の方は、日本語でのコミュニケーション能力

●アートプロデュース表現領域		
専門試験	科目・時間	鉛筆デッサン(イメージ表現)または鉛筆デッサンまたは文章表現 [鉛筆デッサン(イメージ表現)] 9:30~12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフとイメージを合わせ、鉛筆デッサンする [鉛筆デッサン] 9:30~12:00 (2時間30分) 個別に与えられたモチーフを条件内で自由に配置し、構成し、鉛筆デッサンする [文章表現] 9:30~11:30 (2時間) 与えられたモチーフから連想することを文章で表現する
	持参用具	[鉛筆デッサン(イメージ表現)]・[鉛筆デッサン]共通 鉛筆(硬軟各種)、消具、その他必要な用具(パネル・カルトン・フィキサチーフは使用不可) ★B3ボード(シリウス紙)、下描用白色紙1枚は大学で準備します。 [文章表現] 筆記用具 ★原稿用紙、下書き用白色紙は大学で準備します。
	評価基準	[鉛筆デッサン(イメージ表現)] ・発想力、構成力はあるか ・ユーモアのセンスが感じられる表現になっているか ・テーマに沿ったイメージ表現ができているか [鉛筆デッサン] ・モチーフをよく観察し、形態、質感、色調などが的確に表現できているか ・モチーフの構成等、バランスよく表現できているか [文章表現] ・伝えようとしている考えや思いが、読み手に興味をもって読まれるように表現されているか
面接	実施方法	面接 13:00~ 受験生1~3人程度 1組15~20分程度
	持参作品	持参作品は必要としない
	評価基準	・目的意識、意欲があるか ・質問に対して、素直に自分自身の言葉で意思を表現できているか

受験上の注意

- 試験に関する伝達事項は、主として本要項と当日配布するプリントによるほか、掲示で行います。
- 正門の開門時間は**8:00**です。遅くとも試験開始の30分前までには来校してください。
試験場の入場時間は、試験当日大学の指示に従ってください。
- 遅刻・退場については大学の指示に従ってください。
- 試験開始に遅刻しても入場できますが、所定の試験終了時間を超えて受験することはできません。
- 試験実施の前日はキャンパス内に入ることはできません。
- 試験当日は必ず受験票を持参し、万一忘れた場合は係員に申し出てください。
- 専門試験の用紙、画板、カルトン等は本学で準備したものを使用してください。
- 一科目でも受験しない科目がある場合は失格となります。失格後の受験は一切認めません。
- 専門試験の選択科目は届け出た科目で受験しなければ失格となります。
- キャンパス内および周辺には駐車できません。
- 昼食は学生食堂を利用できます。また、昼食を持参した方も利用できます。
- 付添いの方の学内への立ち入りはできるだけご遠慮ください。

合格発表

発表日 **2017年11月30日(木) 10:00**

※発表時間は状況により遅れる場合があります。

- 合格者全員に合格通知と入学手続書類一式を速達にて郵送します。不合格通知は発送しません。
- 合格発表日の発表時間より、電話とインターネットによる「合否案内」での簡易発表を行います。
この発表は、合否確認の補助的な手段ですので、正式には本学からの合格通知によりご確認ください。
「合否案内」の利用方法については11・12ページで確認の上、ご利用ください。
- 合否について本学へ直接の電話によるお問い合わせには、お答えできません。
- 学内の掲示発表は行いません。
- 合格者で、入学手続書類が発表日の翌々日を過ぎても到着しない場合はお問い合わせください。
(ただし、それ以外のお問い合わせにはお答えできません。)

☎042-778-6611



日本国外から出願する場合の注意事項

○出願書類の送付・受験票の受け取りについて

- 出願に必要な書類の入手、検定料の振込みは、すべてインターネットで行ってください。
※「ネット出願手順」をご参照ください。
- EMS（国際郵便）などを利用して、必ず受付期間内に届くようにしてください。
- 受験票の送付先は日本国内に限ります。日本国内の知人や友人を受取人とする場合は、Web志願票の住所に「〇〇様方」（〇〇は受取人の氏名）と記入してください。
- 日本に受験票の受取人がおらず、日本国外から直接受験される方の受験票は、受験日当日まで大学で保管し、試験当日の朝、直接手渡しします。「仮受験票発行窓口」まで取りに来てください。
- 出願書類が到着したかを確認する場合は、女子美術大学入試グループまでご連絡ください。
TEL：042-778-6133 E-mail：as@venus.joshibi.jp

○検定料の振込みについて

- 「ネット出願手順」に従い、クレジットカードでお支払ください。

○合格した際の合格通知・入学手続き書類の送付先について

- 合格通知・入学手続き書類の送付先が、出願時に入力した住所と異なる場合は、試験当日「仮受験票発行窓口」にお申出ください。
（例：母国の保証人宛にEMS（国際郵便）を希望する方など）



「合否案内」について

「合否案内」は正式な合格通知の補助的な手段として、インターネット（パソコン・携帯電話）電話による音声案内で合否結果を確認できるサービスです。
※正式には本学からの合格通知によりご確認ください。

利用上の注意

- 定められた日時以外には利用できません。利用日時や利用方法をあらかじめ確認の上、ご利用ください。
- 利用の際は、受験番号・生年月日が必要です。
- 「誤操作」「聞き間違い」を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は認めません。
- 「誤操作」「聞き間違い」を理由とした合否、操作方法、受験番号に関する電話でのお問い合わせには一切応じませんのでご了承ください。
- 「合否案内」では補欠順位は発表しません。
- 併願している場合は、それぞれの受験番号ごとに確認してください。
- 発表直後はインターネット・電話ともつながりにくい場合があります。つながらない場合はしばらくしてから再度行ってください。

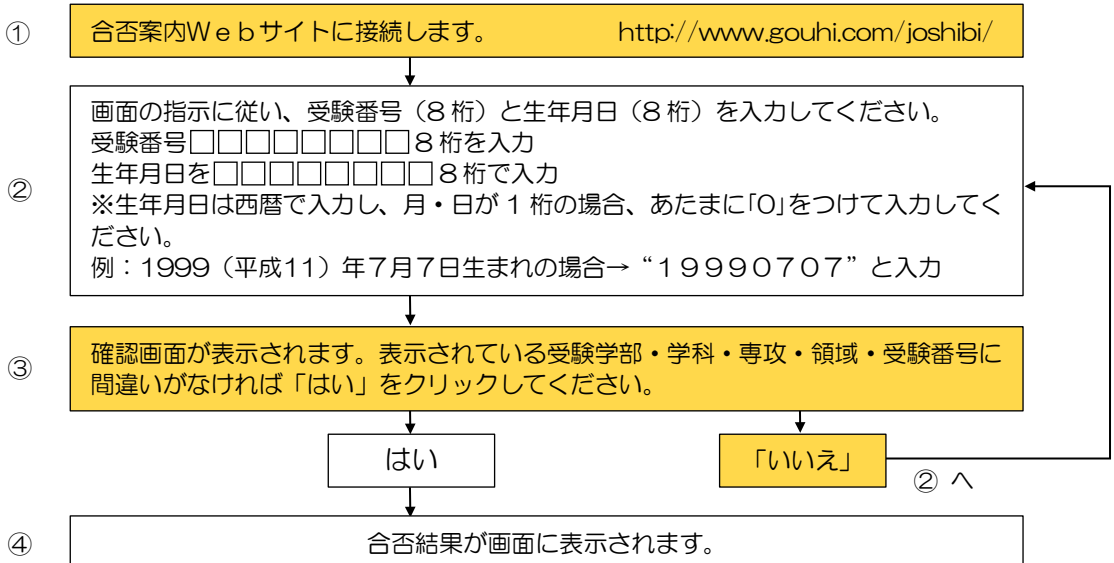
利用可能時間

インターネット・電話 共通
合格発表が午前の入試→発表時間から当日 24：00 まで
合格発表が午後入試→発表時間から翌日 24：00 まで

インターネットによる合否案内

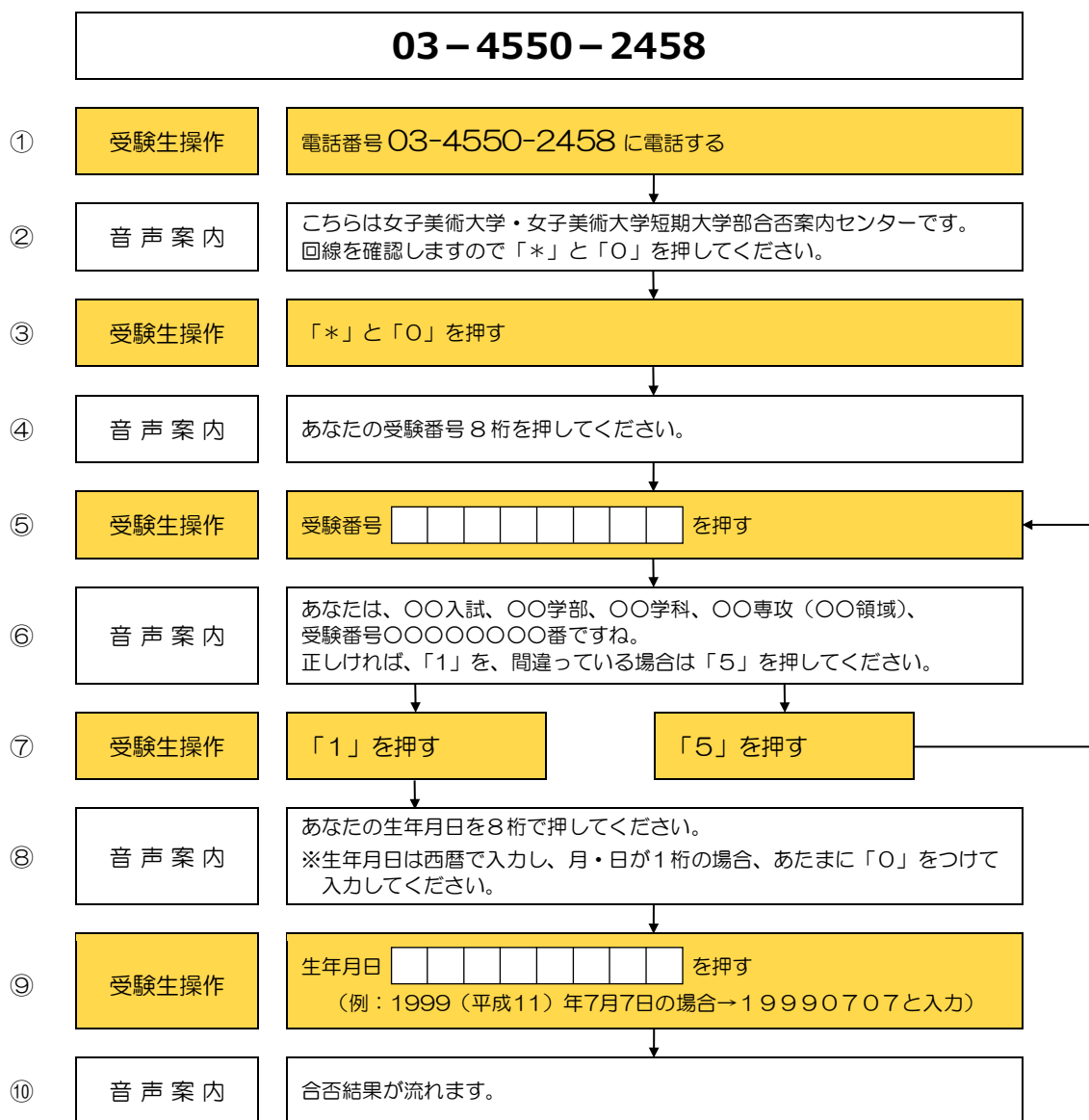
- インターネットに接続したパソコンおよび携帯電話（i-mode、EZweb、Yahoo!ケータイ）を利用することができます。ただし、パソコンのブラウザ・携帯電話の機種によっては、表示が出来ない場合や、若干の違いがある場合があります。

<http://www.gouhi.com/joshihi/>



**電話による
合否案内**

● 家庭用のプッシュ式電話・携帯電話・公衆電話（グリーン・グレー）から利用できます。





入学手続

締切日 2017年12月15日(金)

締切日までに所定の書類を提出し、入学時納入金(下表①)を指定銀行口座にお振込ください。
この手続きが完了した後に入学許可書を郵送します。

学費

初年度納入金 ※次年度については若干の変更がある場合がありますので、合格通知に同封する「入学手続きの手引き」で再度ご確認ください。
※第2学年以降の学費改定は、おもに人事院勧告による国家公務員給与改定率や、東京都消費者物価指数(総務省統計局)などを参考にしたスライド制を適用します。

(単位:円)

入学時納入金		入学金	授業料(前期)	施設設備料(前期)	実習料(前期)	学生教育研究災害傷害保険	学友会費	二ヶの会費	①入学時納入金合計
美術学科	洋画専攻	300,000	634,000	160,000	33,100	4,660	4,500	1,000	1,137,260
	日本画専攻				19,600				1,123,760
	立体アート専攻				35,600				1,139,760
	美術教育専攻				19,100				1,123,260
	芸術文化専攻				19,100				1,123,260
デザイン・工芸学科	ヴィジュアルデザイン専攻	300,000	634,000	160,000	25,000	4,660	4,500	1,000	1,129,160
	プロダクトデザイン専攻				29,000				1,133,160
	環境デザイン専攻				25,000				1,129,160
	工芸専攻				29,000				1,133,160
アート・デザイン表現学科(各領域共通)		300,000	634,000	160,000	39,100	4,660	4,500	1,000	1,143,260

後期納入金		授業料(後期)	施設設備料(後期)	実習料(後期)	②後期納入金合計	年額納入金(①+②)
美術学科	洋画専攻	634,000	160,000	33,100	827,100	1,964,360
	日本画専攻			19,600	813,600	1,937,360
	立体アート専攻			35,600	829,600	1,969,360
	美術教育専攻			19,100	813,100	1,936,360
	芸術文化専攻			19,100	813,100	1,936,360
デザイン・工芸学科	ヴィジュアルデザイン専攻	634,000	160,000	25,000	819,000	1,948,160
	プロダクトデザイン専攻			29,000	823,000	1,956,160
	環境デザイン専攻			25,000	819,000	1,948,160
	工芸専攻			29,000	823,000	1,956,160
アート・デザイン表現学科(各領域共通)		634,000	160,000	29,100	823,100	1,966,360

※アート・デザイン表現学科の実習費については、個人用のノートパソコンに係る経費として、在学中毎年度徴収している¥49,000(初年度¥10,000)を含めて表記しています。なお4年間在学した学生には、卒業時に譲渡します。
※後期納入金の納入期日は、入学年度の10月5日となります。

納入金返還制度

入学を許可された方が入学辞退する場合は、下記期限までに「入学辞退届」を提出し、本学がこれを受理した場合に限り、入学金を除く他の納入金を返還します。(詳細は合格通知同封の「入学手続きの手引き」を参照)

入学辞退届提出期限 2018年3月31日(土) 15:00必着

今後変更がある場合は、合格者に送付する「入学手続きの手引き」でお知らせいたします。

納入金の振替

学費を納入後、本学内で、併願先の合格や補欠繰上げ合格等により芸術学部以外の専攻・領域、短期大学部に入学先を変更する際は、納入金の振替が可能です。

- 授業料減免制度** 大規模自然災害被災学生および私費外国人留学生に対する減免制度があります。
- 奨学金制度** 奨学金制度には大きく分けて学内奨学金と学外奨学金の2種類があります。
- 1.学内奨学金** ※4月入学後に申請するものです。入学前に申請できるものではありません。
本学独自の奨学金で勉学の機会を出来る限り援助するため、返還義務のない給付型の奨学金を設置しています。
- 2.学外奨学金**
学外の団体等によって運営されている奨学金制度です。対象、応募方法、募集時期は設置団体によって異なりますが、それぞれの条件にあてはまる場合にのみ応募できます。
こうした団体の代表的なものとして「独立行政法人 日本学生支援機構」があります。
- 提携教育ローン** 奨学金制度のほかに、本学学生（入学予定者を含む）を対象とした金融機関提携の「女子美提携教育ローン制度」があり、市中金融機関の教育ローンより低金利となっています。
- 国の教育ローン** 日本政策金融公庫が行っている公的融資制度です。
- ※奨学金制度等の詳細については、本学ホームページに掲載の「[奨学金制度](#)」をご覧ください。



その他

- 宿泊** 本学では入試の際の宿泊施設等のご案内・受付は行っておりませんので、宿泊を必要とする方は、各自でご手配ください。
- 入学後の住まい** 遠方より入学され自宅通学が困難な方に対し、安心して学ぶことのできる居住空間の提供と経済的な負担軽減を目的として住まいのケアを行っております。私費外国人留学生に対する減免制度もあります。申込手続等詳細については、入学手続書類に同封します。
- 個人情報保護について** 「学校法人女子美術大学個人情報保護に関する基本方針」に基づき、資料請求および出願書類等への記入においてお知らせいただいた皆様の氏名、住所、電話番号、学校名、学年その他、個人を特定できる情報（個人情報）については、適切に取り扱います。
なお、ご提出いただいた個人情報は入学試験選考、合否の連絡、入学手続、統計・調査、およびこれらに付随する業務のために利用いたします。
※本学における個人情報の保護に関する基本方針は本学ホームページにおいてご確認ください。
- 寄付金等の募集について** 本学では、寄付金等の募集については、入学前には一切行っておりません。従いまして、寄付金等の納入を条件とした入学許可は行っておりません。保護者の皆様からのご寄付は任意であり、本学の教育環境の充実等に向けた募金の趣旨にご賛同いただいた方にご協力を賜ることにしております。入学後にあらためてご依頼いたしますので、ご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。
- 「二ケの会」について** 「女子美術大学 二ケの会」は、女子美術大学大学院・女子美術大学・女子美術大学短期大学部全学生の保護者の皆様と大学が協力して、学生生活の向上と大学の発展に寄与し、あわせて会員相互の親睦と教養を深めることを目的としています。地区別保護者の集い、会報発行、課外活動への補助等の事業を実施して参ります。
- 入学試験での作品について** 入学試験での専門試験作品の所有権、著作権は、学校法人女子美術大学に帰属します。専門試験作品の返却はいたしません。
なお合格者の作品は、本学の入試参考作品として公開することがあります。
- 不当な業者について** 試験当日、最寄の駅前や大学付近で、本学受験生に対して、呼びかけたり高額の料金を取って合否電報・電話の受付をする者があっても、本学とは一切関係がありません。したがって事故が発生した場合、本学は責任を負いません。くれぐれもご注意ください。